

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひかりもせうし (児童発達支援)		公表日		年 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・ホール以外に少人数で活動できる部屋があり、目的や用途に合わせて使用しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・基本的にお子様1人に対して、職員が1人つく事が出来ている為、適切であると思われます。	(課題) 体調不良等で職員が欠席した場合、マンツーマンでの個別療育が出来ない時があった。 (改善に向けて) 療育内容を変更して対応しました。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・写真やイラストを用いた視覚支援を行い、行動しやすい工夫を行っています。	(課題) 構造上バリアフリーではない。 (改善に向けて) 現在利用しているお子様は障害なく活動できています。今後、バリアフリー化が必要なお子様が利用されることがあれば検討していきたいと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日消毒、整理整頓をし、清潔な空間になるよう努めています。また、危険がないように配慮した用具配置で、安全面にも配慮しています。その他、季節の飾り物をし、視覚を通して四季を感じられるようにしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個別療育の際は、同室で行う場合離れた場所で行ったり、集中して行えるよう個別で部屋を使用したりするなど、お子様の状態に合わせて、使用する部屋や場所の工夫をしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・事前の打ち合わせ、事後の振り返りなどの反省を全職員で共有し、次の活動に活かしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者向け評価表を毎年実施しています。その他、大きな行事の際には保護者様アンケートを実施し、ご意見をいただく機会を設けております。いただいたご意見は職員間で共有、検討し改善に繋げています。	左記以外でも、お気づきの点があればいつでもお声がけいただけると幸いです。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・個人評価シートやストレスチェック、個人面談等を定期的開催し、意見の汲み取りをしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		(課題) 外部評価の実施には至っておりません。 (改善に向けて) 今後外部評価が入った際には、より良い業務展開が出来るよう改善に努めます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・必要な研修や希望した研修が受けられるよう、その時間帯の業務内容や職員配置を工夫しています。受講後は、研修内容を事業所内で共有し、参加していない職員も学ぶ機会を設けています。 ・外部研修だけでなく、社内でも研修をする機会があり、自己研鑽に努めています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・5領域に沿った活動設定を行っています。	令和7年4月からの義務化に伴い、支援プログラムを作成し、公表しています。	

適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・お子様の状態や発達課題、保護者からの家庭状況や主訴ニーズの聞き取りを基にアセスメントをしっかり行い、計画案を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・サービス担当者会議で職員間で意見を出し合い、適宜追加や修正をしながら、お子様に合わせた支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・支援計画は原案の段階から職員間で検討、修正を行った上で会議を行い決定しています。 ・レクや日々の療育の中で、計画に沿った活動を提供しています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・検査結果などフォーマルアセスメントの情報はもちろん、全事業所共通のシステムを活用しアセスメントを行っている他、利用者の様子の記録、振り返りを行い、お子様の状態把握をしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・児童発達支援ガイドラインに沿って、各項目の設定を行い、ねらいに沿った支援内容を考え記載しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・それぞれ考えた活動を会議にて確認、修正しながら立案し、全員ですり合わせを行い、日々の活動に取り入れています。また活動当日の朝の打ち合わせで話し合いの場を設け、ねらいや目的の共有を行い実施しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・基本的には日々の活動が被っていないかを全員で確認し、様々な経験ができるよう設定しています。その中で、ねらいや目標の取得に向けて、定期的に繰り返し行うレクもあります。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個々のお子様の発達段階に合わせた個別療育、集団活動となるよう計画し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・前日や当日朝の打ち合わせでその日の活動内容と役割分担を確認し、連携して支援しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・終了後、もしくは翌日の打ち合わせで振り返りと反省を行い、次回の活動に繋げています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・当日中に全員で記録しています。その中で、気になる事や変化などを職員間で共有、検討し療育に活かしています。		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・6ヶ月毎に保護者様とのモニタリングを行っています。必要に応じて期間を短くして見直すケースもあるなど、お子様の状況・様子に対応して適切にモニタリングを行っています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・管理者または児発管が参加しています。	(課題) 参加する職員が固定化されることで、他の職員が経験を積むことができない。 (改善に向けて) 今後、お子様を担当している職員も参加する機会を作り、経験を積めるようにしていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・主に保健師と連携し支援体制を整えていますが、必要に応じて利用者に関わる機関と連携を図り、支援に活かしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・お子様が新たな場所にスムーズに移行できるよう情報の共有を行っています。	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・就学に伴い、ひかりでの様子や支援内容についてお伝えする場があり、情報共有を図っております。		
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)	6			・深川市療育センターより、支援についての助言やアドバイスなどをいただき、療育に活かしています。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6			・現在利用されているお子様は地域の保育所に通っており、そこで交流することができている為、改めて当事業所で交流する機会を設けていません。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・保育所送迎の為、日々の様子は主に連絡帳を通じてお伝えしています。その他、母子療育をご利用の際や面談時に情報交流を行っています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		面談時や送迎時に、ご家庭での関わり方などを助言させていただいております。	(課題) ペアレントトレーニングや研修などは実施していません。 (改善に向けて) 今後、検討していきたいと思います。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			・契約時に文書を見ていただきながら丁寧に説明するよう心がけております。なお、玄関ホールにも掲示しておりますので、いつでもご覧いただけます。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			・保護者様とのモニタリングの際に、意向やニーズをお伺いし、計画に反映させています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			・実際の計画書を提示しながらご説明させていただいております。各項目について丁寧に説明を行い、同意をいただいております。また、作成時専門用語をなるべく使わないようにし、分かり易い内容の工夫をしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			・相談を承った際には、その場で助言をしたり、職員間で支援の検討を行い、その内容をご家族と情報共有する等、適切に対応してきました。	ご家庭での困り事や悩みなど、些細なことでもかまいませんので、何かあれば今後もお気軽にお声掛けいただければ幸いです。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			・父母会の活動や保護者会の開催はありませんでしたが、親子レクを通じて保護者様や兄弟同士で交流する機会を設けてきました。 ・父母会や保護者会のニーズがありましたら、今後設置について検討していきたいと思えます。	(課題) 父母の会、保護者会はありません。 (改善に向けて) 今後、上記設置のニーズがあれば、検討していきます。 行事の際には、ご家族の皆様からご協力をいただけて、大変感謝しております。上記設置には至っておりませんが、今後ご理解ご協力をいただきながら、お子様の健やかな成長をサポートしていきたいと思えますので、よろしくお願ひ申し上げます。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			・ご相談を受けた際には、迅速かつ丁寧に対応することを心掛けております。	何かございましたら、いつでもご連絡なくお声がけください。	

保護者への説明等	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回発行のひかりだよりにて、写真を用いて日々の療育の様子やお知らせをお伝えしています。 本社運営のInstagramにて、写真や動画で活動の様子を発信しておりますので、ぜひご覧ください。 	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> Instagramやお便り等への掲載有無の確認や、窓際には名前を記入している作品を掲示しないようにするなど、第三者の目に触れないようにしています。 	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 口頭や文書のみでなく、写真やイラストを用いる等、分かり易い情報の伝え方を工夫しています。 日頃の活動の様子については連絡帳等を活用した紙面の他、LINEにて写真を添えてお伝えすることもありました。 	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ハロウィンパレードなどで地域住民や商店街の皆様にご協力をいただいております。 	(改善に向けて) 今後さらに地域の方々と交流する機会を設けていけるよう、内容を検討していきたいと考えています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルは職員間で読み合わせを行った後、ファイリングをし、いつでも見返すことが出来るようにしています。また、マニュアルに沿った訓練を実施し、非常時に備えています。 	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		6		(課題) 定期的にお子様を交えた複数の避難訓練や職員の消火・防犯訓練の実施、救命救急講習への参加を行っていますが、児童発達支援での訓練は行っておりません。 (改善に向けて) 次年度年間計画に盛り込み実施していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 利用契約時に保護者に確認しています。 	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 保護者様からアレルギーの有無について聞き取りをしています。児童発達支援の中で食事提供の場面はありませんが、行事等で食事やおやつ提供がある際には、都度保護者様に確認し配慮しています。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 活動において、ケガや危険のリスクがないかの点検、除去、環境調整を行い、利用中安全に過ごせるよう工夫しています。 	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 共有し、再発防止に向けて話し合いをしています。 自事業所のみでなく、全事業所間でも共有し、事例の掌握と支援を見直す機会を設けています。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 事業所での虐待研修の他、全事業所全体の研修会や外部研修に参加し、日頃の関わりの見直しを定期的実施しています。 	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束が必要な事案はありませんでしたが、虐待防止に関する研修で、何が良くて何が虐待に当たるのか定期的に全職員で学び、気を付けて対応しています。 	今後、やむを得ず身体拘束の必要性があるケースが生じた際には、全事業所間で検討し、保護者様にも十分な説明を行った上で、方法や時間について支援計画に記載し、同意を得ることとします。	